

脳機能とリハビリテーション研究会 2013年研修会

テーマ: MRI脳画像の特徴と読解、臨床徴候の関連性を学ぶ!

日時 2013年11月24日(日) 受付9:30~

会場 タワーホール船堀 302・303会議室

プログラム

講義

MRI脳画像読影法の基礎 10:00 ~ 12:00

①MRI脳画像の基礎知識

講師 小笹佳史 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院・リハビリテーション部係長)

②MRIの健常画像と脳梗塞・脳出血例画像の読影方法

講師 迫 力太郎 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院・理学療法士)

理解しよう!

- ・MRIとは? CTとの違いは?
- ・MRIからの脳部位同定方法

- ・MRIの画像の種類とその特徴
- ・脳梗塞と脳出血の見分け方

グループワーク

MRI読影の実践Ⅰ 13:00~14:30

①画像全体像の把握と損傷部位の同定

②症例画像読影法のレクチャー

MRI読影の実践Ⅱ 14:45~16:15

②損傷部位と臨床徴候との関連性の検討

②グループ発表の準備

実践しよう!

- ・実際の画像を用いたMRI読影の手順
- ・損傷部位から予測される症状の推定

- ・損傷部位同定のための画像選択のコツ
- ・プレゼンテーション資料の作成

グループ発表 16:30~18:00

グループ発表およびケースのディスカッション

【定員】50名(会員限定。非会員の方は当日入会手続により受講可能)

【参加費】2,000円

【参加申込み方法】研究会ホームページをご参照ください <http://www.noukinou.com>

※初心者の方も大歓迎! 基礎的な講義と十分な資料を準備しております。
※臨床での評価、スタッフや学生の指導の際にも役立つ情報をお伝えします。
※グループワークでは、グループごとに配布する脳画像から損傷部位の同定と臨床徴候を推定する作業を行います。その結果について発表し、全員でディスカッションを行います。各グループには経験豊富な指導者を配置します。

主催 脳機能とリハビリテーション研究会